

市政一般質問発言通告書 (会派代表・個人)

多治見市議会 議長 様



令和 7 年 8 月 22 日

会派名 新生自民

2 番議員 氏 名 亀井芳樹

質問題名	多治見の未来を共に築く～若者定着と持続可能なまちづくり～
質問要旨	多治見市の未来を担う若者世代が、地域に誇りを持ち、継続的に関わり続けられる環境を整えることは、人口減少時代における最も本質的な投資であり、自治体の持続可能性を左右する重要な政策課題です。 本市ではこれまで、子育て支援の充実、地場産業の振興、市民協働イベントの定着に加え、学生や若手社会人への就労・定住支援など、幅広い若年層の暮らしを支える施策を着実に積み重ねてきました。 しかし、直近の国勢調査速報値および住民基本台帳^{人口}移動報告でも 15～29 歳人口の減少傾向は続いており、特に進学や就職を契機とした転出入の動向は引き続き注視すべき課題です。加えて、令和 6 年度市民意識調査では暮らしやすさの向上や次世代支援施策の重要性が確認され、次回調査は令和 8 年度に予定されています。 以上を踏まえ、本質問では「若者定着に向けた現状把握」「既存施策の評価と改善」「市民協働による参画環境の整備」の三つの柱をもとに、本市の今後の方向性について伺います。
質問項目①	若者定着と課題認識の現状確認について 本市の若者定着に向けた現状把握と課題認識を、人口動態や生活環境を含めてどのように政策へ反映していくのか伺います。
質問項目②	施策評価と改善方針の現状確認について これまでの若者向け施策の成果と課題をどのように評価し、今後の改善・再設計に反映していくのか伺います。
質問項目③	市民協働と若者参画の環境整備の現状確認について 若者主体の地域活動や市民協働を支える制度や支援体制を、今後どのように整えていくのか伺います。
質問の相手方	企画部長